

# 第 58 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事メモ

日 時：令和 2 年 10 月 26 日(月) 10:30～11:50

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

### ○ 会議の概要

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がりの状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 県議会議員の視察団で発生したクラスターについて、対応状況等について報告があった。
- ◇ 感染拡大が続いている宮古地域、八重山地域の状況について報告と意見交換を行った。
- ◇ 「沖縄コロナ警報」を発出することについて、審議の上決定した。

## 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、金城 企画調整統括監（部長代理）、松田 環境部長、宮沢 県警本部長、名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、長嶺 農林水産部長、嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、国吉 八重山保健所長、真栄城 医療企画統括監、系数 保健衛生統括監、宜野座 八重山事務所長（リモート参加）

## 2 報告事項

### （1）沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から昨日の新規陽性者の発生状況について報告【資料 1】
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
  - ✓ 県立病院間での応援体制について、八重山病院へ感染症専門看護師 3 名、感染症専門医 2 名、臨床工学士 1 名、検査技師 1 名の派遣を行っている。宮古病院へ本日看護師 1 名の派遣を行う。

### （2）米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から昨日の米軍基地関係の新規陽性者の発生がなかったことを報告【資料 2】

### (3) 沖縄県内及び全国の感染状況について

- 総括情報部から昨日時点の警戒レベル判断指標の状況について報告
  - ✓ 療養者数、病床占有率及び直近1週間の新規感染者数は第4段階に達しているものの、医療機関の提供体制及び感染経路不明な症例の割合等の指標状況やその他の項目等を総合的に判断し、現在の警戒レベルは第3段階にあるものと判断する。【資料3、3-3、3-4、3-5】
- 総括情報部から各市及び各保健所管内の1週間毎の感染者新規発生状況について報告
  - ✓ 中部・宮古・石垣地区において増加傾向にあることを報告 【資料3-2】
- 総括情報部からインフルエンザ流行状況について報告【資料3-7】

### (4) 宿泊施設の運用状況について

- 総括情報部から軽症者用宿泊療養施設の入居者数について報告【資料4】

### (5) 沖縄県人口変動状況について

- 総括情報部からKDDI Location Analyzerによる滞在人口分析データを用いた状況について報告【資料5】

### (6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部からクラスター発生状況について報告
  - ✓ 石垣市内にある医療機関でクラスターが発生し、患者とスタッフ合わせて感染者が50名確認されていることについて報告。同医療機関への支援のため、厚生労働省と総括情報部から職員を派遣している状況について報告があった。
  - ✓ 宮古・八重山地域を訪問した県議視察団においてクラスターが発生しており、

現時点で参加した 18 議員のうち 12 議員の陽性が確認されたこと、及び視察訪問先関係者にも検査を実施している状況について報告。今会議にリモートで参加する予定であった宮古事務所職員も濃厚接触者となったことについて報告。

## (7) 宮古・八重山地域の感染状況について

### ➤ 総括情報部から宮古島の感染状況について報告

- ✓ 10月8日以降、飲食店を中心に感染が拡がり、人口当たりの患者数は増加しているが、概ね感染経路は追えている。ただし、繁華街を中心とした感染が断続的に起こっている可能性があるため、今後患者が増える可能性は否定できない。

### ➤ 八重山保健所から八重山保健所管内の感染状況について報告

- ✓ 八重山保健所管内の感染者は、かりゆし病院の関係者となっている状況や、各関係機関と協力して対応している状況等について報告。

### <他の報告>

- 八重山事務所から、GOTO 事業等の影響により多くの観光客が訪れていることから、引き続き関係機関と連携し緊張感をもって対応することについて発言。

### <主な意見>

- 第4段階引き上げ時と比較して、現在の医療体制及び就業制限状況をどのように分析し県外からのサポートについて検討が必要か質問あり。
  - ✓ 総括情報部から、宿泊療養施設及び県対策本部等の看護師を派遣するなど県内の人材で補っているため、県外からのサポートについては、すぐに必要な状況ではない旨報告。
- 患者数が突出している那覇市と連携した注意報、警報等の発出が必要であると考え

るが今後の取組について質問あり。

- ✓ 総括情報部から、年末に向けて那覇市と連携し積極的に注意喚起に取り組む旨報告。

### 3 議題

#### (1) 沖縄コロナ警報（案）について

- 総括情報部から、これまで注意報を発してきたが、患者数はさらに増加傾向にあり警戒レベル第4段階への移行が間近であるとの認識が必要であるため、警報を発することについて提案していることを説明。

#### (質疑応答)

- なぜ増加しているのか、どのように対策すればよいのか確認できるよう『感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫』』を参考に分かりやすい情報提供が必要である。また、冬にかけて感染増加が懸念されることから、収束へ向かうよう強く注意喚起を行う必要がある旨意見があった。
- ✓ 総括情報部からクラスターや飲酒を伴う会食会合等の感染拡大要因を示した注意喚起の表現にする旨説明
- 「医療提供体制の状況」を追記し行動変容を依頼する根拠を示す必要がある。また、協力依頼の根拠として「沖縄県新型コロナウイルス感染症等対策条例」を追記するよう指摘があった。
- ✓ 総括情報部から追記修文する旨返答。
- 警報の期限を定める必要はないか又は、必要がなくなった際に解除を行うべきではないかとの指摘があった。
- ✓ 保健医療部から緊急事態宣言に伴う休業要請や外出自粛等の活動制限とは異なる

るため期限を定めるのではなく、「当面の間」と追記することとし、状況が改善した場合には、解除することとしたい旨説明。

- 各部員の意見を取りまとめのうえ、警報を発出する旨了承が得られた。

#### <他の報告>

- 総務部から、警報に併せ、会食等への参加に関し、県職員向けの注意喚起として通知を発出する旨発言があった。

## 4 その他

- 保健医療部から、戦略的 PCR 検査の案について報告。
  - ✓ 重症化するリスクを低減するため、エッセンシャルワーカーの中でも、特に介護施設や医療機関等の職員を対象に、定期的に PCR 検査を実施できないか検討していることについて報告。
  - ✓ 本部長から、各部局連携し迅速に対応して欲しい旨指示。

## 5 閉 会

- 沖縄コロナ警報について、本日知事メッセージとして発信することを確認した。